



HSM 通信

64号

メンバー紹介

今回は、本年5月より「刈上げ野郎とゆかいな仲間たち」に加わった、やわらかな笑顔ときめ細やかな気配りが魅力のニューフェイスのご紹介です！今回は、本人の経歴を踏まえた”学校風”でご紹介します。

Profile



氏名 おおた ゆき
太田 有紀

出身地 岡山県瀬戸内市 ※会社のある備前市の隣です
先月掲載された橘さんと同じです！

趣味 K-POP (Stray Kidsのファン、STAYです)、読書、カフェ巡り
K-POPは中学生のときからずっと好きで、LIVEに行ったりするのを楽しみに仕事を頑張ります！
読書は、友人から教えてもらい読んだ朝井リョウさんのエッセイがとても面白くて、それ以降エッセイの魅力に引き込まれています。

特技 力持ちなところ！大学時代はチアリーディング部に所属しており、ベース(トップを支える)というポジションをしていました。

仕事への意気込み 社長から入社当初「疑問を持つことが大事」というお言葉をいただいたので、学び続ける姿勢を持ち続けたいです。

7月18日 直ぐわむら

私です！

経歴: 大学卒業後、小中学校で英語講師として教育現場に携わり、児童・生徒に英語の指導や部活動の指導などをしていました。その後、「英語をもっと違う形で生かせる仕事がしたい」と考えるようになる中、弊社の求人を知り、その仕事内容に興味を持ち、これまでの経験を活かしつつ新しい分野に挑戦できると感じ、応募したそうです。

今後の事業展開を見据える中で、船舶管理業務を幅広くサポートできる人材は欠かせないと考えており、業種としては未経験ながらも英語力を活かせる方にご応募いただけたのは、まさに良いタイミングでした。

機器名など専門用語を含め覚えることは多いかと思いますが、着実に知識を増やしてくれていると感じています。今後も当社の欠かせない戦力として長くSTAYして頂きたいものです。

保安情報

以前より不定期でアジアを中心とした保安情報をお知らせしておりましたが、今回久しぶりに掲載したいと思います。やはり気になるのは中東情勢かと思えます。停戦したとはいえ、イスラエルがイランへの攻撃を開始したことにより、我々海運業界への影響も気になるところであります。原油やLNG、LPGなどの大動脈であるホルムズ海峡の通航に影響が出ればエネルギーの安定供給に支障を来すことに繋がります。

また、紅海南部では未だに商船に対する攻撃が続いています。6日にウルトラマックスバルカー「MAGIC SEAS」が攻撃されたのに続き、7日にもリベリア船籍の貨物船「エタニティC」が攻撃され、沈没しました。「MAGIC SEAS」においては、乗組員と武装警備員は船を脱出し、通りかかった商船に全員救助されたと報じられておりますが、「エタニティC」においては乗船していた船員22人と武装警備員3人のうち攻撃により4人が死亡したとのことです。

今年6月には、欧州コンテナ船社で大型船のスエズ運河航行再開の動きも見られたが、現状コンテナ輸送では喜望峰経由が定着しており、全面的な再開には至っておらず、今回の商船攻撃により、さらに遠のいた様に思います。

また、アジア地域においても、相変わらずシンガポール海峡やインドネシアを中心に武装強盗がコンスタントに発生している様ですので、引き続き十分な注意を払っていく必要があります。



このコーナーでは散歩の似合わない男「桑村」がその重い腰ならぬ重い体を上げ、日生やその周辺を散歩！魅力的なスポット・お店などを紹介してのですが…

今回は特別編として、もう一つの弊社拠点「神戸事務所」近郊のお店をご紹介します。神戸方面へ出張される際の合間にちょっと寄り道したり、休日にふらっと出かける参考にしていればと思います！

たつや

くわ散歩 第15回:本場直送！神戸で味わう「やきとん龍家」で満腹散歩

皆さんこんにちは！くわ散歩では、弊社周辺や近隣等のまだ知られていない穴場やオススメのお店など、様々なスポットを紹介いたします。

今回は、番外編として、弊社のもう一つの事務所がある「神戸・三宮」から、埼玉東松山の直送ホルモンが自慢のやきとん店をご案内します。日生が神戸で埼玉の味を楽しめるなんて…まるで、お口の中がグルメ新幹線や～！（彦摩呂風）



今回は、夜になると賑わいを見せる、三ノ宮駅北側エリアにある「やきとん龍家(たつや)」さんです。

(住所:兵庫県神戸市中央区中山手通1-2-9 伸光ビル2F)

三ノ宮駅から徒歩約6分とアクセス良好ですが、ビルの階段を上がるので初訪問時は見落とさないようご注意ください。営業中は大きな赤提灯が目印です！（写真撮り忘れまして…）



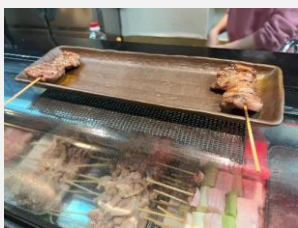
席数は28席でカウンター・テーブル・座敷個室(4～14名)があります。関西にいながら本場のやきとんが味わえるとあって開店直後でもすぐに席が埋まる人気ぶり。予約推奨です。

カウンター席からは焼き物が焼かれる光景が拝見でき、視覚と嗅覚から食欲が刺激され、喉も渇き…もう限界です！



まずは乾杯とともに豚のレバ刺しとガツ刺しからスタート。

レバ刺しはびっくりするほど臭みがなく、トロとした食感にゴマ油と塩が混ざり合っ、思わず顔がほころぶうまさ。ガツ刺しはコリコリ食感が楽しくて、生姜醤油でさっぱり。新鮮さがしっかり感じられて、ビールが止まらない一品でした。



そして待ってました、名物の焼きとん！埼玉・東松山では「やきとり」と言えば、実は豚肉の串焼き「やきとん」を指すのだそうです。このお店では本場・埼玉から毎日新鮮な豚肉が直送されているとのこと。カウンター席の冷蔵ケースには串打ちされたお肉がずらりと並び、思わずテンションが上がります。さらにその上に焼きたての串を置いてくれて、ワクワクが止まりません！



やきとんの初手は名物のカシラをいただきました。歯ごたえがしっかりありますが、固いわけではなく、とてもいい食感と旨味です。味噌をたっぷり付けて食べるのが本場スタイルなんだそうです。

やきとんではタンも定番部位だそうで、こちらもいただきました。香ばしく焼かれたタンは、噛むほどに肉汁がじわっと広がり、ほどよい弾力が心地いい。肉そのものの旨みが際立ち、お酒との相性も抜群。

その他にもレバーやガツシン(豚ミノ)、しろ大腸など、どれも美味しくて全メニューを制覇したいほど至福の時でした。



もつ煮込み豆腐。じっくり煮込まれたもつは柔らかく、噛むほどに旨みがしみ出します。



誘惑に負け、締めにおかけご飯を頂きました。誘惑に負けてよかったです(おいしかった)



この日はじめ写真を撮り忘れ、普通に飲んでしまいました…

お腹も心も大満足。値段もリーズナブルながら、本格やきとんと多彩なメニューが楽しめる「龍家」。近くにあったら、会社帰りに一人でも寄りたくなる、そんなお店でした。

ダイエットは、もう少し延期かな…。

それでは、次回の「くわ散歩」でまたお会いしましょう！

記事を書いている時
ずっとお腹が
鳴っていました





ピックアップ!

ここでは、私共が目にして気になった記事やニュース等を紹介させていただきます。
海運に関する事や海運に関係なくても興味がわく様な内容の物を色々紹介していきたいと思います!

こんにちは！今回は、いつもと少し趣向を変えて、ある言葉をピックアップして、その言葉についてちょっと深く考えてみたいと思います。決して、締め切りが迫りネタが無いからこの内容にしたという訳ではありません！

私は非常に良い言葉だと感銘を受けましたが、皆さまはどの様に感じるでしょうか???

生きていく上で大事なこと

これから紹介する言葉は、ちょっと古いですが、当時話題となりテレビのニュースで見ましたし、今でもYouTubeやTikTokなどで目にすることがあります。

『朝、希望をもって目覚め、昼は懸命に働き、夜は感謝と共に眠る』

2017年3月15日の参議院予算委員会での麻生太郎氏の発言です。

メロリンキュー(山本太郎氏)の質問「人間が生きる上で一番必要なものは何か。私は空気だと思います。麻生大臣、人間が生きる上で二番目に大切なもの、何だと思われませんか。」という質問に対して、当時財務大臣(副総理)であった麻生大臣はこのように回答しました。

「人間が生きていくうえで大事なことは、朝、希望を持って目覚め、昼は懸命に働き、夜は感謝と共に眠る。この気持ちだと思います。」

国会でくだらない質問に終始する野党に対し、とてもシンプルに、明快に答えられていたのがとても印象的であり、スカッとしたのを覚えています。おそらく、この国会を視聴していた人たちは驚き、そして感銘を受けたのではないのでしょうか。

この言葉は一見すると、庶民の「普通の生活」を表しているように思います。

しかし、この「普通の生活」を送ることがどれだけ難しいことかということを、誰もが実感していることだと思います。

「朝、希望をもって目覚め」

朝、希望をもって目覚めることは、新しい一日を前向きに迎えることを意味しています。

朝起きた時、多くの人は、「会社行きたくないな.....」、「学校行きたくないな.....」、そう思ってしまうのではないのでしょうか。

しかし、新しい日には、新しい可能性や新しいチャンスがたくさんあります。これから待ち受ける「仕事」や「勉強」に対して、前向きな姿勢でのぞむことの大切さを強調しているのではないのでしょうか。

「昼は懸命に働き」

昼は、「自分がやるべきこと」に取り組む時間です。懸命に働くことが重要です。

仕事や学業、家庭のことなどに全力で取り組むことが、充実した人生を送るために必要です。

日中は全力で努力し、自分の役割や使命を果たすこと、勤勉さやプロ意識の大切さを示しているのではないのでしょうか。

「夜は感謝と共に眠る」

毎日同じ様な生活を続けていると、いつしか「当たり前」になっていきます。

しかし、毎日当たり前の様にしていること、できていること、は実は当たり前ではないのです。

毎日ご飯を美味しく食べられること、温かい布団で眠れること、は「当たり前」ではなく「有り難い」ことであると考えることが大切なのではないのでしょうか。

一日の終わりに、自分が出会った人たち、そして今の生活に対して「感謝」の気持ちを持つこと、一日に対する感謝の気持ちを持って休むこと、そんな謙虚な気持ちで眠りにつくことができれば、きっと希望を持って目覚めることが出来るのだと思います。

ということで、如何でしたでしょうか？

この言葉は、前向きな態度を持ち、一日を有意義に過ごし、感謝の気持ちを忘れずに生きることの大切さを示していると思います。

「一日は一生の縮図」と言われるように、この言葉は、充実した人生を送るための基本的な心構えを示しているのではないのでしょうか。

朝は、眠気と胃もたれ顔のむくみ全身の倦怠感にまみれて目覚め、

昼は、眠気と強い飲酒欲求と戦い、

夜は、酒にまみれて気づいたら眠りに落ちている、

そんな毎日を送っている私に、ぶっ刺さった言葉を紹介させて頂きました。

初めて聞いた時にとても感銘を受けた言葉でしたが、その後のすさんだ生活の中ですっかり忘れていたようで、今回改めてこの言葉を振り返り、そして今の自分の生活を振り返り、「改めよう！」と決意しました。

皆さまほどの様に感じたのでしょうか???

今さら聞けない

海運基礎知識 「SSCECについて」

今回は、「SSCEC」について取り上げてみたいと思います。

船舶の運航や管理に携わっている方だと頻繁に耳にすることがあると思いますが、そうでない方だと中々耳馴染みの無い言葉かもしれません。しかし、船舶の運航には欠かせません。

今回はそんな「SSCEC」について触れてみたいと思います。

「SSCEC」って何？

SSCECとは、Ship Sanitation Control Exemption Certificate(船舶衛生管理免除証明書)の略で、船内の衛生管理状況が良好で、ネズミなどの害獣や感染症を媒介する可能性のあるものがないことを証明する書類です。有効期限は6ヶ月なので、半年に一度陸上検査を受けて更新する必要があります。

昔は水質検査と並び船内衛生にかかわる検査といえば「Deratting検査」でした。この「Deratting検査」は、2007年6月より船内衛生の検査内容が強化され、ネズミ族の有無だけでなく、船内の衛生状態全般や蚊の生息、乗組員の健康状態等に検査対象が拡大されることになりました。証書も「Deratting Exemption Certificate (ねずみ族駆除免除証明書)」から「Ship Sanitation Control Exemption Certificate (船舶衛生管理免除証明書)」と名前が変わりました。有効期限はDerattingの時から変わらず6ヶ月です。

「SSCEC」の取得・更新手続き

SSCECを取得するためには、検疫所による衛生検査を受け、合格する必要があります。検査では、ネズミや蚊などの生息状況、食品や飲料水の取り扱い、各区域の衛生管理状況などが確認されます。検査の結果、衛生管理状況が良好であれば、SSCECが交付されます。

次ページへ続く

前述の通りSSCECの有効期間は6ヶ月なので、期限が切れる前に再度検査を受けて更新する必要があります。通常、代理店経由にて手配を行います。港によって出来る場合と出来ない場合があり、金額にも大きな差がでることもありますので、事前に寄港予定の各港の代理店に更新可否及びコストを確認して前広に検討しておくことが望ましいです。

港によっては、SSCECの延長が出来ることもありますが、基本的には、6ヶ月以内に更新する様適切に管理することが求められます。

検疫手続き

SSCECは、船内の衛生管理状況が良好で、国際保健規則(IHR)に定められた衛生基準を満たしていることを証明する書類であり、この証明書を持つことで、一部の検疫手続きが免除される場合があります。

外国から入港する船舶に対しては、入港する際に、入港手続きの1つとして検疫が行われますが、通常、入港の際に検疫官が直接船に乗り込むのではなく、事前に船舶から提出された健康状態などの情報(無線通信による通報)を審査し、感染症の侵入リスクが低いと判断された場合に、入港を許可する無線検疫を行います。

無線検疫は、船舶が到着する前に、無線で検疫手続きを行うので、従来の検疫方法(臨船検疫や着岸検疫)に比べて、迅速かつ効率的に検疫を実施できます。

そして、この無線検疫を行う為には、SSCECが必要になります。この様に入国手続きに必要な重要な書類の一つとなりますので、適切な管理が必須です。

以上、非常に簡単ではありましたが、「SSCEC (Ship Sanitation Control Exemption Certificate: 船舶衛生管理免除証明書)」について説明させて頂きました。

上記の通りこの書類は、船の入港手続きにも必要な重要書類となっており、通常、用船契約上はこのSSCECの維持管理については船主の責任となっておりますのでその点も注意が必要です。万が一、更新するのを忘れていた場合、有効なSSCECが無い為無線検疫が受けられないという事になり、その為に発生した追加の時間や費用は船主負担となってしまいます。

更新自体は代理店経由で安価に行えるので、以外と軽く考えがちですが、上記の様に運航に直接影響を及ぼし、船主にも負担を掛けることに繋がるので、普段から注意を払い出来るだけ前広に更新を計画するなど適切に管理することが求められます。

以上

